

令和6年度 観光振興施策の実施状況

観光企画課

目 次

1 国内外との動線確保	1
2 高付加価値なコンテンツの充実	4
3 持続可能な観光地づくり	9
4 国内外への情報発信の強化と本県の認知度向上	14
5 県産品の振興による魅力発信	24
6 大阪・関西万博を契機とする誘客促進	26
各指標の状況	27

1 国内外との動線確保

実施状況

① エアポートセールスの推進、航空旅行会社への支援、空港受入環境整備

- 徳島阿波おどり空港における航空ネットワークの充実を目指して、積極的なエアポートセールスを実施し、「定期便」及び「チャーター便」の誘致に取り組むとともに、航空会社への運航支援や旅行会社への商品造成支援、アウトバウンド利用促進、利用促進イベントなどの実施により、多くの方に空路を利用いただき、その効果がイン・アウト双方向で県内全域に及ぶよう取り組んだ。（観光誘客課）

◆国際定期便

- ✓ R6.11.16 香港との県政史上初となる国際定期便就航（グレーターベイ航空/香港）
- ✓ R6.12.26 韓国ソウルとの国際定期便就航（イースター航空/韓国）

◆国内チャーター

- ✓ R6.5月 隠岐 6月 花巻・稚内 9月 釧路 10月 三沢・八丈島・福島・秋田
12月 静岡・福江・仙台
- R7.1月 久米島/石垣、2月 女満別・福江

◆国際チャーター

- ✓ R6.3.9~4.17 スターラックス航空（台湾） インバウンドチャーター17往復
- ✓ R6.7.18~8.12 グレーターベイ航空（香港） インバウンドチャーター6往復

◆季節定期便

- ✓ JAL札幌線の運航 期間：R6年8月 週3便運航

◆旅行会社への商品造成支援

- ✓ 国内チャーター便商品：7件
- ✓ 国際チャーター便商品：1件
- ✓ モニターツアー商品：1件
- ✓ スタートアップ商品：35件
- ✓ 双方向チャーター便商品：3件
- ✓ 国際定期便商品：7件
- ✓ 閑散期商品：20件



国際定期便就航

◆アウトバウンド利用促進事業

- ✓ 県内旅行会社に対する旅行商品造成及びモニターツアーの造成支援
- ✓ 国際定期便の利用者に対するパスポート取得支援：294名
- ✓ 空港駐車場利用者に対する割引支援：607台
- ✓ 国際定期便の利用喚起
県民リポーターの派遣：11名
県内メディア（新聞、テレビ、タウン誌など）・サイネージを活用した情報発信
県内メディアアムツアー：4件 Youtube・Instagram・GoogleなどSNS広告

◆利用促進イベント・キャンペーン

- ✓ JAL東京線就航60周年記念イベント（R6.8.1）
- ✓ JAL札幌線・季節定期便初便の搭乗者の歓迎お出迎え（R6.8.1）
- ✓ JAL福岡線就航30周年記念イベント
搭乗者の皆様への記念品配布やお出迎え（R6.10.1）
- ✓ JALとの連携による徳島発ダイナミックパッケージの「周年記念割引キャンペーン」の実施（R6.10.16～）
- ✓ ANAとの連携による「ANAトラベラーズダイナミックパッケージ」の割引キャンペーンを実施（R6.11.19～）



ウォーターサルート

◆JAL福岡線就航30周年記念イベント

「九州・とくしまゆかりの集い」（R6.9.29）

徳島-福岡線就航30周年を記念して開催。

九州出漁団ガルーツの方々をはじめ、本県ゆかりの約140名の方々に御参加いただき、新たな交流による関係人口の拡大に寄与した。

（関西本部、経済産業政策課）



九州・とくしまゆかりの集い

- 徳島阿波おどり空港の機能が持続可能な形で維持・発展できるよう、航空機の運航に不可欠な空港業務の体制強化を図るため、応援派遣受入や空港関係事業者の人材確保・育成に係る経費について支援した。（観光誘客課）

② 四国への新幹線実現に向けた取組

- 四国への新幹線整備を早期に実現させるため、国への要望活動や県民の機運醸成のためのイベントを行った。また、「四国新幹線整備促進期成会」が中心となり、「四国新幹線整備促進期成会東京大会」を開催したほか、機運醸成の新たな取組として署名活動を開始した。（交通政策課）

- ✓ 四国の新幹線実現に向けた国等への要望活動（R6.8.21・R7.1.22）
- ✓ 四国新幹線整備促進期成会第6回東京大会（R6.8.21）
- ✓ 県民向け機運醸成イベントの開催（R6.8.4）
- ✓ 四国の新幹線の早期実現に向けた署名活動（R6.6.4～R7.8.18）



機運醸成イベント

③公共交通ネットワークの充実

- 地域住民の生活交通手段を確保するため、地域間の幹線となるバス路線の維持・確保に取り組むとともに、過疎地域のバス路線の維持・確保やデマンド交通等の運行に取り組む市町村を支援した。
また、公共交通の利用促進を図るため、鉄道やバスの利用環境改善に取り組む市町村等を支援した。（交通政策課）

- ✓ 幹線バス運行支援事業
補助系統数：26系統
- ✓ 生活バス路線維持確保補助金
補助系統数：48系統
- ✓ 公共交通利用環境改善モデル事業補助金
補助事業数：3件



利用促進イベント

- 西日本高速道路（株）四国支社、四国4県及び四国ツーリズム創造機構との共同で、高速道路の周遊割引キャンペーン「四国まるごとドライブバス！」を実施した。（観光誘客課）

- ✓ 実施期間：R6.7.5～R7.3.31
申込数：14,000件

2 高付加価値なコンテンツの充実

実施状況

① 徳島ならではのコンテンツの造成・ブラッシュアップ

- 県内の宿泊者数や旅行消費額の増加を促進し、観光による地域経済を活性化させるため、「歴史・文化」「自然・釣り」「スポーツ」「ウェルネス」の4テーマを基軸とした観光コンテンツや旅行商品の造成に係る取組を支援した。（観光企画課）

- ◆補助金交付状況：4件

- ✓ イーストとくしま観光推進機構：2件
「徳島古代史ゆかりの地めぐり」ファムツアーア実施事業
阿波花火と阿波遍路で巡る伝統文化体験ツアー
- ✓ ツーリズム徳島：1件
県外古事記研究会モニターツアーアと観光案内ツール製作
- ✓ 美馬観光ビューロー：1件
ミステリー剣山 古代ロマンを感じる旅ツアー造成事業



新たな観光コンテンツ（古代史）

- 本県には古代から近代に至るまでの様々な歴史的遺構があり、種々の伝統産業、伝統文化と合わせることで、観光コンテンツとしての活用が考えられることから、「歴史・文化観光」推進PTを立ち上げ、歴史・文化関係者、旅行会社、DMOに参画いただき、文化・歴史施設の現状と課題を共有するとともに、令和7年3月4日、PTメンバーであり、四国遍路に深い見識を有する「モートン常慈」氏に、外国人観光客へも発信・伝達していただくため、「あわ歴史文化観光大使」を委嘱した。（観光企画課）

- 徳島への観光誘客と阿波おどりの振興を図るため、「はな・はる・フェスタ」や「徳島市の阿波おどり」の開催を支援した。（観光企画課）

- ◆はな・はる・フェスタ（R6.4.13～14）来場者数：約50,000人
- ◆徳島市の阿波おどり（R6.8.11～15）
 - ✓ 県庁外駐車場の開放 利用台数：731台（4日間）
 - ✓ 無料演舞場開催支援
 - ✓ 総合案内所運営支援
 - ✓ 交通円滑化対策（シャトルバス運行）支援



夏の阿波おどり（徳島市）

- これまで「アスティとくしま」において開催してきた「秋の阿波おどり」を、徳島駅周辺でパレードをする形式へとリニューアルした。

「東京ディズニーリゾートスペシャルパレード」にも参加いただいたほか、藍場浜公園やアミコビル周辺、新町川・阿波製紙水際公園など、徳島駅前周辺で9つのイベントを開催するなど、例年以上の観光客が訪れ、徳島の観光コンテンツの魅力を発信した。（観光企画課）

- ◆徳島おどりフェスタ～新時代へ躍り出そ～（R6.12.1）
 - ✓ 場所：徳島市中心部 ✓ 参加者：約80,000人



徳島おどりフェスタ

- 県東部エリアを管轄する「イーストとくしま観光推進機構」、県西部エリアの「そらの郷」、県南部エリアの「みなみ阿波観光局」の3つの地域連携DMOや、「ツーリズム徳島」、「美馬観光ビューロー」の2つの地域DMO、県観光協会が参加する「徳島県DMO観光推進協議会」の枠組みのもと、地元観光事業者の独自アイデアを生かした滞在型の県内周遊ルートづくりを推進した。（観光企画課・西部総合県民局・南部総合県民局）



にし阿波 体験型教育旅行
そらの郷 山里物語



【地域連携DMOの取組】

◆イーストとくしま観光推進機構

- ✓ ファムツアーオー主催・提案：24件
- ✓ ツーリズムEXPO等商談会参加
- ✓ データマーケティングの推進
- ✓ 海外メディア取材受入：2件
- ✓ WEBプロモーション

広域連携DMO「四国ツーリズム創造機構」との連携により、観光アプリ「しこくるり」から得られるデータを活用

◆そらの郷

- ✓ 体験型教育旅行受入：45校（6,343人泊 + 日帰り20人）
- ✓ 地域の学生に対するキャリア教育の実施：4回
- ✓ 2024年「第8回ジャパン・ツーリズム・アワード」審査員特別賞受賞
- ✓ インバウンドツアー受入：39件
- ✓ 観察、ファムツアーオー受入：16件
- ✓ JTB BOKUNによる体験コンテンツのオンライン販売：2,408件（6,360人）
- ✓ 香港ブックフェアやツーリズムEXPO等、国内外の旅行博への出展
- ✓ 訪日向け旅行会社商談件数：277件
- ✓ 各種SNSでの情報発信：Instagram フォロワー数 3,606
Facebook フォロワー数 5,518
- ✓ 地域のブランド認証商品の物産販売イベント出展：12回



体験型教育旅行
(コエグロづくり)



うだつの町並み
(着物レンタル)

◆ みなみ阿波観光局

「徳島・みなみ阿波」のサステナブルな観光地域づくりを加速するため、地域特有の自然環境、文化、歴史等の資源を活かした新たなコンテンツ造成や、多様な関係者と協働した観光誘客の推進体制の構築に取り組んだ。

- ✓ 釣りインストラクター認定やモニターツアー開催等による「みなみ阿波釣～リズム」の推進
- ✓ 県南ならではの離島等を活用したサステナブルツアーオの開催：4回
- ✓ DMVと地域の観光資源を組み合わせた「DMV+1」ツアーオの開催：6回
- ✓ 日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）に基づく「観光振興計画」策定およびロゴマークの取得
- ✓ 香港など国内外での商談会などで県南全域のプロモーション：11回
- ✓ 県南ならではの祭り等を活用した
　　伝統文化・伝統芸能サミットの開催
　　：12月14～15日で延べ5,000人
- ✓ 県南グルメマップの制作（275店舗掲載）
　　：384施設7,000部配布



DMV

- JR四国が運行する観光コンテンツである、多度津～大歩危間をつなぐ
観光列車「四国まんなか千年ものがたり」や徳島線トロッコ列車「藍よしのがわトロッコ」を
活用し、県内周遊を促進した。（観光誘客課）

- ◆ 四国まんなか千年ものがたり 乗車実績 合計14,738名、乗車率88.9%
- ◆ 藍よしのがわトロッコ 乗車実績 合計 3,600名、乗車率52.4%



藍よしのがわトロッコ

- 観光客と接する機会が多く、来県者の徳島に対する印象を左右する
「タクシー運転者」の「おもてなし力」の向上を図ることを目的に、
「おもてなしタクシー」として認定する取組を実施。（観光誘客課）

- ◆ 徳島県おもてなしタクシー 認定者数：60名

- 徳島の豊かな「食」や「食文化」の魅力発信を強化し、新たな「人の流れ」と
「食べに行きたい徳島」を創出し、本県への誘客や県産食材の認知度向上、
販路拡大へとつなげる取組を行った。（みどり戦略推進課販売・物流支援室）

- ◆ 「徳島食の博覧会2024」の開催（R6.11.30～12.1）

徳島おどりフェスタと連動して開催し、
生産者や加工食品の業者による出店、
キッチンカーでの県産品の販売、
ライブキッチンを含むステージイベントを実施

- ◆ 飲食店向けセミナー（R6.3.24）

多様な食文化（フードダイバーシティ）に対応した食材選びや
調理ポイントを学ぶセミナーを開催



食の博覧会

- 観光施設の魅力アップ、ライフサイクルコストの削減に向け、施設の計画的な大規模修繕を実施し、施設の機能回復と長寿命化、利用者の安全性向上を図った。（にぎわい政策課交流拠点室）

② プロスポーツチーム等との連携によるにぎわい創出

- 全県的なにぎわい創出及び県民一丸となってプロスポーツを応援する気運を醸成するため、県内在住・在学の小中高生の無料招待等を行う「県民応援デー」を実施した。（スポーツ振興課交流拠点室）

- ◆ 徳島ヴォルティス
- ✓ 徳島県民デー（R6.8.17）
- ◆ 徳島インディゴソックス
- ✓ 前期徳島県民応援デー（R6.5.3）
- ✓ 後期徳島県民応援デー（R6.8.25）
- ✓ チャンピオンシップ徳島県民応援デー（R6.9.21）
- ◆ 徳島ガンバロウズ
- ✓ 徳島県民応援デー（R6.11.2・R7.3.8）



プロスポーツ選手と
小学生の交流

- 子ども達がプロスポーツに触れ、「夢」を育てる機会を創出するとともに、スポーツへの興味・関心を醸成し、本県のスポーツ振興及び地域活性化を図ることを目的として、小学生との交流会を実施した。（スポーツ振興課交流拠点室）

- ◆ 徳島ヴォルティス R6年度実施校数：10校 参加児童数：計430人
- ◆ 徳島インディゴソックス R6年度実施校数：6校 参加児童数：207人
- ◆ 徳島ガンバロウズ R6年度実施校数：3校 参加児童数：172人

③ イベントのブラッシュアップ

- 本県の魅力を全国に向け発信するとともに、県民のスポーツ振興、にぎわい創出を図るため、とくしまマラソンの開催を支援した。（スポーツ振興課交流拠点室）

- ◆ とくしまマラソン2025（R7.3.23）
フルマラソンエントリー数 7,806人（うち海外エントリー221人）



とくしまマラソン2025

- 県内外からの観光誘客の促進及び地域経済の活性化を推進するため、徳島県ならではのコンテンツの発掘・充実を図ることにより、年間を通じた新しいにぎわいを創出した。（にぎわい政策課）

- ◆ アニメ、eスポーツ等を活用した既存イベントへの協力
 - ✓ 実施回数：4回
- ◆ アニメを活用したデジタルスタンプラリーの開催
 - ✓ 実施箇所：17箇所
 - ✓ スタンプ回数：15,532回
 - ✓ イベント出展：7回
- ◆ 徳島県にぎわい創出推進補助金
 - ✓ 補助件数：14件（アニメ、eスポーツイベントを含む）

④ 新たな山村価値創造に向けた林道の活用

- 林業に限らず、登山やツーリングなど、ニーズが多様化している林道を「新たな観光資源」として利活用することで、徳島県の豊かで魅力的な自然に触れる機会を創出できるよう、オフロード車のファンミーティング、自転車ツーリングなどのイベントを開催した。（森林土木・保全課）

◆剣山スーパー林道フェスタ（R6.11.10） 場所：那賀町・神山町 来場者数：約500人

⑤ 「釣～リズム」の推進

- 県内の釣り関係者、旅行会社、DMOが参加し「釣～リズム」の推進に必要な課題を共有するための会議に参加するとともに、必要な助言を行った。（水産振興課）
- 「阿波釣法」を生み出した、豊富な釣りのフィールドを活かした「釣り・ツーリズム（釣～リズム）」を推進するため、イベント等における情報発信と旅行商品の造成を推進するとともに、3月には、「釣～リズム推進協議会」を発足させ、民間主体で活動していただけるよう、組織づくりを行った。（観光企画課）

また、「家族連れ」や「釣り好き」など、ターゲットに応じた「釣りコンテンツ」造成に取り組んでおり、「モニターツアー」を実施するとともに、初心者でも安心して楽しめる釣り環境の整備として、「釣りインストラクター」の養成にも取り組んだ。（南部総合県民局）

- ◆ 「フィッシングショーOSAKA2025」への出展
開催日：R7.1.31～2.2 出展社数：約150社 来場者数：約4万人
- ◆ 「釣～リズムフェスティバル2025徳島県知事杯vol.0
(主催：(一社) TSURIBITO)」での情報発信
開催日：R7.1.13 場所：牟岐港周辺
参加者：磯釣り57名、ファミリーフィッシング30名



フィッシングショー

⑥ 大鳴門橋の活用

- 地域振興や交流人口の拡大につなげるため、本州四国連絡高速道路株式会社の協力の下、観光イベントや連休など県外からの誘客が見込める期間において、大鳴門橋主塔照明の計画点灯を実施した。（高規格道路課）

◆点灯日数：77日

3 持続可能な観光地づくり

実施状況

① ハード・ソフト両面での受入環境の充実

- 宿泊キャパシティの拡大を目指し、宿泊施設の誘致に向けた、県内ホテルマーケット環境の分析、事業者の県内視察の企画・アテンドなどを行うとともに、民泊開業の機運醸成につながる取組を行った。（観光誘客課）

- ◆徳島県宿泊施設投資促進事業補助金交付決定：1件
COZY COMFORT HOTEL (R7.3.11交付決定)



ホテル完成予想図

- 観光関連施設及び宿泊施設等の高付加価値化や、観光関連事業者の生産性向上による収益改善を図るため、複数の観光事業者が協力して行う「観光施設の高付加価値化改修」や「DXの推進」、「観光コンテンツの造成」の取組を支援した。（観光誘客課）

◆支援事業概要

- 地域観光案内所の整備、宿泊施設の高付加価値化改修、観光予約サイトの構築
- タクシーを利用した特別プランの造成など
- 補助金交付状況：3件（9事業者）

- インバウンド客の増加が見込まれる中、現場の課題やニーズを把握し、ストレスフリーな観光へとつなげるため、各種調査を実施した。（観光誘客課）

- ◆インバウンドを中心とする観光客644名に対する、受入環境についての「満足度調査」
- ◆「韓国市場」・「香港市場」に専門的知見を有する調査員による「モニタリング調査」
- ◆観光関連事業者63者に対する「現状調査」

【主な課題】

- 「公共交通機関の乗り場や乗換案内の情報」、「多言語対応」、「無料Wi-Fi環境」の不足

- 外国人旅行者が安心して旅行することができる環境の実現に向け、各観光案内所が抱える課題や今後の取組について情報交換を行うため、「県内JNTO認定外国人観光案内所現状報告・情報交換会」を開催した。（観光誘客課）

- ◆JNTO認定外国人観光案内所数(パートナー施設含む) (R7年4月末時点) : 13施設

- 観光客の皆様が手荷物を持たずに気軽に観光できるよう宿泊施設に荷物を送ることができる「手ぶら観光」サービスを実施した。（観光誘客課）

- ◆預け窓口 JRホテルクレメント徳島1階フロント、徳島阿波おどり空港案内所 (R7.4.1時点)
- ◆指定宿泊施設 42施設

※平成29年度の四国デスティネーション・キャンペーンを機に取組開始

- 「大阪・関西万博」の開催などインバウンド客の増加が見込まれることから、「とくしま観光アカデミー」において、観光人材の即戦力強化や観光ガイドの実地演習などスキルアップを図るとともに、徳島県シルバー大学校大学院の「おもてなし外国語講座」受講者に対し、善意通訳組織「徳島GGクラブ」への入会を促進するなど観光人材の育成に取り組んだ。（観光誘客課）

- ◆ 徳島県に住所を有する全国通訳案内士：47名（英語42名、中国語5名）
- ◆ 善意通訳組織「徳島GGクラブ」会員数：180名

② あわ文化のリーダーとなる児童生徒の育成

- 徳島の文化芸術やその魅力の発信のため、徳島県中学校文化連盟をはじめ、関係各所と協力し、中学生をはじめとした児童生徒が「あわ文化」に触れる機会の充実やSNS等での情報発信を図ったほか、県内公立中学校教員を対象に、徳島への誇りを醸成する教育の推進のため、研修を実施した。（義務教育課）

- ◆ 徳島県中学校総合文化祭参加生徒数 1,104名
- ◆ あわっ子文化大使・あわっ子センター活動参加のべ人数 145名
- ◆ あわ文化教育リーダー研修開催 R6.6.7（オンライン開催）

- 徳島県高等学校文化連盟と連携し、徳島県高等学校総合文化祭の開催、近畿高等学校総合文化祭及び全国高等学校総合文化祭への作品の出展や舞台発表を行う生徒の派遣支援を行った。
また、文化芸術リーディングハイスクールに指定した名西高校を、地域や県内高校を牽引する拠点校として育成するため、スキルアップ事業や発表会の開催を支援した。
伝統芸能においては、「U-18阿波おどり・人形浄瑠璃フェスティバル」を開催し、阿波おどりと人形浄瑠璃に取り組む高校生の活動を支援した。（高校教育課）

- ◆ 第43回徳島県高等学校総合文化祭 1,980名
- ◆ 第44回近畿高等学校総合文化祭福井大会 221名
- ◆ 第48回全国高等学校総合文化祭ぎふ総文2024 201名
- ◆ U-18阿波おどり・人形浄瑠璃フェスティバル開催（阿波市）（R6.10.27）

③ 観光人材の確保・育成

- 「観光人材の即戦力強化」、「次代の観光産業の担い手育成」、「地域で活躍する観光人材の創出」を図るため、産学官連携による学びの場「とくしま観光アカデミー」を開催した。（観光企画課）

- ◆ 実施期間 R6.11.12～R7.1.25
- ◆ 延べ参加者数 104名
 - ✓ 観光事業者、社会人を対象とした「ビジネスコース」、学生、社会人を対象とした「チャレンジコース」の2コースを設け、観光課題の解決に向けたチームビルディングを取り入れた「演習講座」、観光ガイドのテクニックに関する「実地研修」など、実践的な講座を開催した。
 - ✓ また、南部総合県民局の主催により、県南におけるアドベンチャーツーリズムについて、フィールドワークを踏まえながら検討する特別講座も開催した。



④ とくしま農林漁家民宿の取組支援

- インバウンドをはじめとした旅行需要の呼び込みを促進するため、「とくしま農林漁家民宿」のスキルアップを図るとともに、「とくしま農林漁家民宿」及び農山漁村地域の魅力を効果的に発信した。（鳥獣対策・里山振興課）

- ◆ スキルアップ研修 参加者数：20人
- ◆ とくしま農泊プランPR動画の制作
- ◆ 四国4県、関西広域連合との連携によるキャンペーンの実施



とくしま農林漁家民宿

⑤ 持続可能で魅力的なまちづくりの推進

- 徳島駅周辺における新たな人の流れの創出を図る駅北口設置に向け、車両基地の移設概略検討や鉄道高架事業の検証を行い、ステークホルダーである徳島市やJR四国と協議を進めた。（都市計画課まちづくり室）

⑥ 寄港地観光の拠点整備の推進

- 既存インフラ等を活用した水辺にぎわい創出に向け、民間活力を導入した港湾倉庫のリノベーション、集客イベントなどの情報発信に取り組んだ。（港湾政策課）
- ◆ 倉庫のにぎわい転換 1件
 - ◆ 万代中央ふ頭HPやFacebookを活用したイベント情報などの発信
 - ◆ オープンスペース（岸壁）の緑地化実証実験に向けた設計
 - ◆ 県有施設「旧タクシーメーター検査場」のイベントへの活用（R6年度：22回貸出し）



万代中央ふ頭ライトアップ

⑦ サイクルツーリズムによる観光振興

- 県民の運動実施率向上や健康増進、観光・文化の振興等を図るため、サイクリングやポタリングの開催、サイクル・キャビンを活用したサイクルツアー等の実施により「自転車王国とくしま」ブランドを強力に発信した。（にぎわい政策課）

- ◆ 自転車活用促進・ツーリズム推進部会の開催

- ✓ 開催回数：2回

- ◆ 自転車王国とくしま公式コースPRサイクリング、ポタリングイベントの実施

- ✓ イベント回数：3回

- ✓ 参加者数：22人

- ◆ 子ども向けイベントの実施

- ✓ 実施回数：2回

- ✓ 参加者数：45人

- ◆ サイクリングガイド養成講座の開催

- ✓ 開催回数：5回

- ✓ 認定者数：8人

- ◆ 健康サイクリング事業所認定事業

- ✓ 更新：16事業所

- ✓ 新規：3事業所

- ◆ 「サイクル・キャビン」運行事業

- ✓ 実施回数：1回

- ✓ 参加者数：11人



サイクルツーリズム

- サイクルツーリズムを通した交流人口の拡大や観光振興を図るため、兵庫県と連携し、大鳴門橋自転車道設置を推進した。（高規格道路課）

- ◆ 「自転車道本体」の設置に向けた淡路側のアプローチ橋工事や仮設備工事を実施

- ◆ 「渦の道」のアプローチ橋を拡幅するための橋梁架設工事を実施

⑧ アリーナの整備に向けた取組

- 県内外から多くの人を誘客し、宿泊者数の増加や地域経済の活性化へと繋げる「目指すべきアリーナ像」を具体化するため、類似施設の状況やアリーナの好事例をもとに、求められる規模や機能、その他有効な附帯施設などについて調査・研究を行った。（スポーツ振興課）

- ◆ アリーナ整備関連調査等業務の結果公表

- ✓ 目指すべき姿（ビジョン・コンセプト）

- ✓ 想定される主要事業・利活用シーン

- ✓ 期待される機能と必要な施設・諸室・設備要件

⑨ 南部圏域独自の体験型コンテンツや受入体制の拡充

- 県南ならではの自然環境、文化、歴史等の資源を活かした「みなみ阿波釣～リズム」を推進するため、新たなコンテンツ開発や受入体制の拡充、「みなみ阿波釣～リズム」をきっかけにした、県南の認知度アップに取り組んだ。（南部総合県民局）

【みなみ阿波釣～リズムの取組】

- ◆ みなみ阿波推し釣りガール6名選定・みなみ阿波釣りインストラクター8名認定
- ◆ モニターツアー催行 4回
- ◆ モニターツアーや釣りガールを活用したパンフレットを、5,000部制作
- ◆ みなみ阿波観光大使の赤井英和氏を活用した、釣～リズムプロモーション動画を制作



SUP



釣～リズム受入体制の拡充

⑩ 西部圏域における農泊受入環境整備の推進

- 急増する訪日外客や、全国からの体験型教育旅行の更なる需要獲得に向け、にし阿波の農泊事業者に対し、住宅改修や設備の新增設などに要する経費の一部を補助する時限的な支援制度を創設し、地域の農泊受入環境整備に取り組んだ。（西部総合県民局）

◆ 補助実績

- ✓ 新規事業者：5件
- ✓ 再開事業者：2件
- ✓ 既存事業者：26件



共同調理体験

4 国内外への情報発信の強化と本県の認知度向上

実施状況

① 観光誘客に直接つながる戦略的な情報発信

- 県内の観光関連事業者やDMOなどが「オール徳島」で旅行会社との商談に臨む「オール徳島観光商談会」を開催、県内3DMOが本県の観光資源の魅力を、直接、旅行会社の担当者にプレゼンしたほか、団体旅行向けの「貸し切りバス助成」など、旅行商品造成への支援制度の説明も併せて実施した。（観光誘客課・県観光協会）
 - ◆ 「オール徳島観光商談会」の開催（R6.5.15）
 - ✓ 場所：明治記念館（東京）
 - ✓ 旅行会社・運輸会社：22社
 - ✓ 徳島県側事業者：31団体
 - ◆ 「九州旅行博覧会2025」でのブース出展（R7.2.22～23・福岡市）
 - ◆ 「阿波おどり臨時観光案内所」の設置（R6.8.13～14・徳島市）
 - ◆ 「日本心臓リハビリテーション学会学術集会」でのブース出展（R6.7.13～14・神戸市）
 - ◆ 「EXPERIENCE SHIKOKU」での観光PR（R6.10.17～20・シンガポール）
 - ◆ 「第55回四国地区スポーツ推進委員研修会」でのブース出展（R7.1.18・あわぎんホール）



オール徳島観光商談会



九州旅行博覧会

- H28.8.5に締結した日本航空株式会社との包括連携協定に基づき、下記の取組を実施し、本県の魅力を発信した。（観光誘客課）
 - ◆ 日本航空株式会社西日本支社主催の大阪・関西万博西日本マルシェに徳島県ブースを出展
 - ◆ 「俺の株式会社」が協力のもと、大塚国際美術館にて、JAL特別ディナーアイベントを開催
 - ◆ ふるさとアンバサダー客室乗務員が南部圏域の観光情報を紹介するPR動画を作成し、JALが運営する観光情報紹介サイト「On Trip JAL」にて掲載
 - ◆ 職員の人事交流
- H29.5.11に締結したANAホールディングス株式会社との包括連携協定に基づき、下記の取組を実施し、本県の魅力を発信した。（観光誘客課）
 - ◆ 英国風パブ「HUB」における「徳島県フェア」の実施
首都圏からの若者・インバウンド誘客を目的として、ANAとともに地域の魅力発信に取り組んでいる株式会社ハブと連携し、首都圏の英国風パブ「HUB」5店舗において県産品を使用したメニュー提供等を行う「徳島県フェア」を10月の1ヶ月間実施
 - ◆ 職員の人事交流

- 下記の内容について、相互の連携及び協力によって、本県の観光振興を通じた地方創生の活動を推進することで、活力ある地域社会の形成・発展に寄与するため、株式会社エイチ・アイ・エス及び株式会社さとゆめと包括連携協定を締結した。
(観光誘客課)

- ◆ 株式会社エイチ・アイ・エスと株式会社さとゆめとの包括連携協定の締結 (R7.3.7)
 - ✓ 徳島県の観光、地域の魅力発信に関するこ
 - ✓ インバウンドに関するこ ✓ アウトバウンドに関するこ
 - ✓ 新しい目的地づくりに関するこ など
- ◆ 株式会社エイチ・アイ・エス職員の受入
協定締結に先立ちヨーロッパ駐在の経験もある社員を観光部局に受け入れている。
- 下記の内容について、両者が保有する資源を活用することで、本県の地方創生に資するため、株式会社羽田未来総合研究所と包括連携協定を締結した。 (観光誘客課)

- ◆ 株式会社羽田未来総合研究所との包括連携協定の締結 (R7.3.11)
 - ✓ 県産品の認知度向上・消費拡大に関するこ
 - ✓ 観光・航空路線の振興に関するこ ✓ 移住促進・関係人口拡大に関するこ
 - ✓ 森林の保全及び林業の振興に関するこ ✓ 県政情報の発信に関するこ など
- ◆ 羽田空港国際線ターミナルでのプロモーションイベント (R7.3.8~9)
欧米人をメインターゲットに本県の紹介と阿波おどりの演舞、
阿波人形浄瑠璃の上演のイベントを実施



- 徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」を通じて旅行客に直接届く形で、旬の情報を積極的に提供した。 (観光誘客課)

- 羽田空港国際ターミナルイベント**
- ◆ 徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」 総アクセス件数：約4,580,000件
 - 観光施設や飲食店を巡ることで、徳島県特産品等のプレゼントが抽選で当たる「スタンプラリー機能」や、その場で特典が受けられる「おもてなし機能」を有する「阿波ナビスタンプラリー」を通じて、観光客の周遊性や満足度向上につなげた。
(観光誘客課)

- ◆ 「阿波ナビスタンプラリー」 登録者数：約3,100人
- 県観光情報サイト「阿波ナビ」のSNS（フェイスブック、インスタグラム、X）や各種メディアを活用した観光情報の発信に取り組んだ。 (観光誘客課)

- ◆ SNSの運用状況 (R7.5時点)
 - ✓ 「阿波ナビ」Instagram (フォロワー数 17,150)
 - ✓ 「阿波ナビ」Facebook (フォロワー数 5,507)
 - ✓ 「阿波ナビ」X (フォロワー数 4,534)
 - ✓ 「徳島あるでないで」Facebook (フォロワー数 1,057)
 - ✓ 「徳島あるでないで」Instagram (フォロワー数 1,943)
- ◆ メディアプロモーション
 - ✓ ご当地じゃらんの制作・配布 ✓ じゃらん本誌記事掲載
 - ✓ JAL機内誌の記事掲載 ✓ 羽田空港第二ターミナルでのサイネージ展開

- ◆デジタルサイネージを活用した情報発信
徳島市阿波おどり期間中等に来県した方々に対し、本県の魅力を映像等で効果的に発信するため、デジタルサイネージを設置した。
 - ✓藍場浜公園 (R6.8.12~15)
 - ✓徳島阿波おどり空港 (R6.8.12~31)

- 本県の豊かな自然や魅力的な伝統文化等を「とくしまロケーション・ブランド」として活用し、映画、テレビ番組等を誘致・支援した。（観光企画課）

- ◆ロケ相談件数：72件 うちロケ支援件数：42件
(テレビ21件、CM5件、その他16件)

- 宿泊事業者や旅行会社、地域連携DMOと連携し、学生の将来の来県にもつながる「体験型教育旅行」の誘致に取り組んだ。（観光誘客課）



教育旅行ファムツアーアクティビティ

- JNTO主催の台湾の訪日教育旅行促進事業現地セミナー・個別相談会で台湾学校関係者と個別相談会を実施するとともに、高級中等以下学校国際教育交流聯盟の協力を得て、四国単独教育旅行説明会を実施した。（県観光協会）

- ◆現地セミナー・個別相談会 (R6.6.17~18) ◆四国教育旅行説明会 (R6.6.19,21,24~25)
◆台湾からの教育旅行受入実績：12校

- 観光分野におけるデータマーケティングの重要性が高まる中、OTAとタイアップし、各社の強みや保有するマーケティングデータを活用し、データに基づくターゲット設定、体験コンテンツの造成、販売、キャンペーン及び効果検証を実施した。（観光誘客課）

- 県産品のブランディングや新たな販路開拓、さらには県内企業の海外進出支援までをワンストップで支援する、官民一体の地域商社「公益社団法人徳島県産業国際化支援機構」等と連携し、国内外でのプロモーションを実施した。
(経済産業政策課商務流通室、みどり戦略推進課販売・物流支援室)

- ◆徳島ビジネスチャレンジメッセ (R6.11.7~9)
 - ✓ 場所：アスティとくしま ✓ 参加者：5社
- ◆遊山箱料理教室 (R6.11.16)
「遊山箱」を活用した徳島の伝統文化と食の一体的なPRを実施
 - ✓ 場所：フランス Espace Japon (日仏文化交流施設)
 - ✓ 参加者：10名
- ◆HCJ2025 (R7.2.4~7)
 - ✓ 場所：東京ビッグサイト (東京) ✓ 参加者：6社
- ◆首都圏商談会 (R7.3.17)
 - ✓ 場所：渋谷エクセルホテル東急 (東京)
 - ✓ 参加者：県内企業27社、バイヤー26社



徳島ビジネスチャレンジメッセ

② 広域連携DMO、他都道府県とも連携した国外へのプロモーション

- 外国人観光誘客を促進するため、旅行会社への各種助成を行うとともに、[英語圏向けInstagram](#)
本県を訪れる外国人観光客が快適に滞在できるよう、受入環境の強化や、
国際定期便等のおもてなし充実につながる取組を行った。（観光誘客課）

◆旅行会社への各種助成

- ✓ 宿泊助成：4,462人泊分
- ✓ プロモーション助成：5件
- ✓ ファムツアーハウス助成：1社40人分

- インバウンド個人客向けに、SNS及びホームページで、徳島の旬の観光地や宿泊施設、イベントなどの情報を、
ネイティブの表現で発信した。（観光誘客課）

◆各SNSフォロワー数（R7.6.1時点）

- | | | | |
|-----------------------|---------|----------|----------|
| ✓ 英語圏 Instagram | 2,224人 | Facebook | 50,539人 |
| ✓ 香港 Instagram | 6,340人 | Facebook | 54,948人 |
| ✓ 台湾 Instagram | 65,158人 | Facebook | 8,264人 |
| ✓ タイ Instagram | 6,483人 | Facebook | 139,789人 |
| ✓ 韓国 Instagram | 1,992人 | Facebook | 1,441人 |
| Naverブログ：412人（R6年度開始） | | | |

◆徳島県海外向け観光情報サイト「Discover Tokushima」の運営 (英語・中国語(繁体/簡体)・韓国語)

- ✓ R6年度総アクセス件数：約283,000件

discover.tokushima



Discover Tokushima

- 國際定期便利用者に対し、訪日外国人観光客向け路線バス・フリー乗車券「TOKUSHIMA BUS PASS」や、県内各事業者に協力いただき、飲食店や観光施設等で利用可能な割引クーポンを配布した。（観光誘客課）
- 四国4県及びJR四国などの民間企業等で構成される「四国ツーリズム創造機構」、
関西の8府県4市を構成団体とする「関西広域連合」も参加する「関西観光本部」、
瀬戸内7県12の民間企業等で構成される「せとうち観光推進機構」と連携し、
スケールメリットを生かした観光誘客に取り組んだ。（観光誘客課）

【広域連携DMOの取組】

◆四国ツーリズム創造機構

- ✓ 令和5年10月から設置しているイギリスの現地セールス拠点「レップ」による、
欧州からの訪日旅行を取り扱う旅行会社に対する営業活動やメルマガ形式の
ニュースレターの配信等
- ✓ 大阪・関西万博を見据え、四国のアドベンチャートラベルと親和性の高い3つの
メディア（Wanderlust UK、Lonely Planet、The New York Times）と連携し、
四国の魅力を伝える記事を掲載
- ✓ ツーリズムEXPOジャパン2024への出展（R6.9.26～9.29・東京ビッグサイト）
- ✓ 四国観光商談会の開催（R6.10.3 東京会場、R6.10.9大阪会場）
東京会場：旅行会社36社、四国側会員セラー61社が参加
大阪会場：旅行会社20社、四国側会員セラー57社が参加

- ✓ 世界最大級のBtoB旅行博「World Travel Market（英国：ロンドン）」にブース出展（R6.11.5～7）
- ✓ 四国インバウンド商談会2024を実施（R6.11.13）
東アジア、欧米豪及び東南アジアをターゲットとする在日ランドオペレーター等を招請
バイヤー22社、四国側会員セラー52社が参加
- ✓ 商談会に参加するバイヤーを対象にファムツアーセミナーを実施（R6.11.9～13）
旅行会社、ランドオペレーター9社が参加
- ✓ 海外セールス
 - ◇ 四国観光セミナーin上海（R6.7.3）
36社参加
 - ◇ 四国観光オンラインセミナー（R6.8.22）
中国南部の広東省広州や深圳などを拠点とする旅行会社に対する
オンラインセミナーを開催（56社参加）
 - ◇ 四国観光座談会（R6.12.18）（上海市）
観光名所紹介と現地旅行会社と意見交換を実施（36社参加）
 - ◇ 四国観光セミナーin北京・四国の魅力体験イベント（R6.12.20～21）



ツーリズムEXPO



四国観光商談会

◆ 関西観光本部

- ✓ 海外観光プロモーション等での官民が一体となった関西ブランドの戦略的な発信
 - ◇ 「台湾商談会」開催（R6.9.4）（参加団体:日本72、台湾186）
 - ◇ 「タイ商談会」初開催（R7.2.12～13）（参加団体:日本28、タイ42）
- ✓ 「大阪・関西万博」の開催に向けた「万博プラス」の広域観光誘客事業
- ✓ 広域周遊・観光の実現のため地域連携による広域周遊ルートづくりとなる
「プラスワントリップ事業」として、高所得層向けのコンセプト商品の造成
- ✓ 旅行者へのサポート体制強化のため、通訳案内士やホテルコンシェルジュ、
ボランティアガイド等に対する研修を実施（約2,800人が参加）
- ✓ 西日本の拠点としての「KANSAI」の形成に向けて四国、瀬戸内等を含む
西日本の広域DMOと関西観光本部とのマルチ連携協力

◆ せとうち観光推進機構

- ✓ 欧米豪市場に向けたせとうち地域周遊ルートや新たな戦略素材等の情報発信
 - ◇ 現地メディアへのアプローチを通じた発信
現地有力メディア（米Forbesや豪traveller等）に対して、「レップ等を活用したニュースレターの発信」「セールスコール」やSNS等による発信
- ✓ 高付加価値旅行者層へのせとうち地域周遊旅行商品販売促進
アメリカ、オーストラリアの現地旅行会社を選定して7～8月に現地での意見交換会を実施
連携旅行会社4社（米2社、豪2社）を招請し、ファムツアーセミナーを開催
- ✓ 事業ブランド『せとうちDMC』を立ち上げ、新たに旅行業務の取扱いを開始
- ✓ 「大阪・関西万博」ポータルサイトへの旅行商品の掲載及び販売

- 国際線の就航を見据え、韓国、香港、タイ、台湾等をターゲットに、海外の旅行会社を対象にファムツアーやセールスなど戦略的なPR活動を実施した。
また、国外での本県の認知度向上を図るため、旅行博への出展や現地で発信力のあるインフルエンサー等の招聘を実施した。（観光誘客課・県観光協会）

【国・地域ごとの取組】

◆韓国

- ✓ 現地エージェントを設置し、現地旅行会社へのセールスを強化
- ✓ 徳島県の旅行会社セールスサポート（年2回）
- ✓ 現地メディアへの情報発信（観光情報など/通年）
- ✓ インフルエンサー及びメディア招聘（R7.3.8～13）
参加者：インフルエンサー2名、メディア1名 計3名



現地旅行会社へのセールス

◆香港

- ✓ 香港旅行博ITEへの出展（R6.6.13～16）
- ✓ 香港ブックフェア2024への出展（R6.7.17～23）
(県観光協会・西部総合県民局・三好市の共同出展)
- ✓ 県内事業者等向け「徳島インバウンドセミナー」（R6.7.24）
- ✓ 香港TVBテレビ取材受入対応業務（県観光協会）
(R6.8.2～5口ケハン、9.16～22口ケ本番)
香港からのインバウンド誘客に資する取材を受け入れる際、より多くの観光情報を発信出来るように取材をサポート
- ✓ VISIT JAPANトラベル&MICEマート（R6.9.26～28）（県観光協会）
場所：東京ビックサイト 商談件数：28社
- ✓ 香港現地ミニセミナーの開催（R6.10以降毎月）
- ✓ インフルエンサー及びメディア招聘（R6.11.13～16）
参加者：インフルエンサー2名、メディア1名 計3名
- ✓ 県主催の観光商談会及び現地旅行会社セールスコール
 - ◇商談会（R7.1.15）
参加者：県内観光関連事業者30社、香港現地旅行会社28社
 - ◇セールスコール（R7.1.16）
訪問先：各旅行会社 合計12社
- ✓ 香港深圳旅行会社ファムツアーフェア（R7.3.15～19）
招聘者：香港旅行会社 3社3名、深圳旅行会社 4社4名
- ✓ 香港旅行博HTE2024への出展（R7.2.20～23）
- ✓ SNS等を活用した効果的な情報発信

◆タイ

- ✓ バンコク日本博2024出展 (R6.8.30～9.1)
- ✓ ファムツアーオの実施 (R6.10.6～11・11.25～30)
- ✓ FITフェア出展 (四国旅客鉄道株式会社・四国ツーリズム創造機構との連携出展) (R6.11.8～10)
- ✓ 観光商談会及びセールスコール (R7.2.10～11)
- ✓ ジャパンエキスポタイランド2025への阿波おどり派遣及び公演 (R7.2.9)
- ✓ 観光セミナー及び交流会の開催 (R7.2.10～11)
- ✓ タイ天皇誕生日祝賀セレブションへの阿波おどり派遣及び公演 (R7.2.18)

◆台湾

- ✓ ファムツアーオの実施 (R6.9.26～30) 6社6名参加
- ✓ 旅行博覧会「ITF」への出展 (R6.11.1～4)
- ✓ 関西観光本部主催「台湾大商談会」(台中・台北)への参加 (R7.2.11～14)



ファムツアーオ



旅行博覧会への出展

◆欧米豪

- ✓ 東京都と山陰・瀬戸内地域、四国地域での連携によるインバウンド商談会等への参加 (パレスホテル東京) (R6.9.11)
- ✓ 広域連携DMOと連携したファムツアーオの実施
 - ◇航空会社とのタイアップキャンペーン“One Shikoku, Authentic Japan”
 - オーストラリアの旅行会社とのファムツアーオ (R6.7.26～8.1)
 - イギリスの旅行会社とのファムツアーオ (R6.9.9～15)
(四国ツーリズム創造機構との連携)
 - ◇インバウンド地方誘客に向けた四国旅行商品造成促進事業
 - オーストラリア・イギリスの旅行会社とのファムツアーオ (R6.11.9～13)
 - ファムツアーオ参加者と四国内の事業者との商談会 (城西館 (高知県高知市)) (R6.11.13)
 - 海外旅行会社等22社
(四国ツーリズム創造機構との連携)
- ◇米国「LATAS (LOS ANGELES TRAVEL & ADVENTURE SHOW)」に「EXPO2025関西観光推進協議会」として関西ブースを出展 (R7.2.22～23)
(関西観光本部との連携)
- ◇オーストラリア・シドニー「Japan Roadshow2024」への参画 (R6.8.26)
(関西観光本部との連携)

◆シンガポール

- ✓ シンガポールのショッピングセンターでB to Cイベント「Experience SHIKOKU」の開催 (高知県との共同出展) (R6.10.17～20) (県観光協会)

- 本県が世界に誇る伝統文化である「阿波おどり」について、本県阿波おどり連や世界各地の海外連や県人会の御協力のもと、海外派遣を行い、徳島の魅力発信と認知度向上を図った。
(観光企画課)

- ◆ R7.2.9 : ジャパンエキスポタイランド2025
- ◆ R7.2.18 : タイ天皇誕生日祝賀レセプション



タイ阿波おどり派遣

- 貸切バス料金の高騰による団体バス旅行商品の減少に歯止めをかけるとともに、団体旅行向けの旅行商品造成による観光誘客拡大を図るため、本県への宿泊を伴う団体バス旅行を催行する旅行会社へ助成を行った。 (観光誘客課)

- ◆ 補助金交付実績：バス240台、7,638人

- 徳島県の魅力を広くPRし、本県の認知度及びイメージの向上を図り、観光振興、地域の活性化につなげるため、「阿波とくしま観光大使」として新たに3名に委嘱し、イベントやSNSなどを通じて本県の情報を発信した。 (観光企画課)
※現在活動いただいている「阿波とくしま観光大使」は11名 (R7.6.1時点)

- ◆ R6.8 吉田愛乃助氏 (プロライダー)
- ◆ R6.12 超特急ユーキ氏 (タレント)
- ◆ R7.3 高橋健介氏 (俳優)

③ MICEの積極的な誘致活動

- 会場施設をはじめ、宿泊・飲食・交通など幅広い業種における地域経済の活性化が大きく期待できる中四国会議以上のコンベンションについて助成し、開催支援や宣伝活動を行うことにより、コンベンションの誘致を行った。 (県観光協会)

◆ 開催支援

- ✓ コンベンション参加人数：29,648人
- ✓ 助成件数：55件

◆ イベント・商談会などの誘致活動

- ✓ 第34回国際MICEエキスポ (R7.2.13)
場所：国際東京フォーラム 来場者数：519名
- ✓ 中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会 (R6.12.4)
場所：ベルサール三田ガーデン 来場者数：60名
- ✓ Japan MICE EXPO2024 (R6.10.17～18)
場所：インテックス大阪 来場者数：2,810名
- ✓ VISIT JAPAN トラベル&MICEマート (R6.9.26～28)
場所：東京ビックサイト 商談件数：28社
- ✓ 香港ブックフェア (R6.7.17～23)
場所：香港コンベンション&エキシビションセンター 来場者数：99万人

- 全国からコンベンションビューロー、MICE関連の研究者・事業者等が参加する「国際観光コンベンションフォーラム」を本県で開催し、各地域のステークホルダーとの連携を強化した。（県観光協会）
 - ◆国際観光コンベンションフォーラム2025in徳島（R7.2.20～21）
場所：四国大学交流プラザほか 来場者数：160名
- 四国4県が連携し観光庁事業「海外からのミーティング・インセンティブ旅行誘致に向けた地域連携支援事業」に採択され、ミーティング・インセンティブ旅行誘致に向けた各種プログラムの磨き上げを行い推進した。（県観光協会）
 - ◆磨き上げをしたコンテンツ：4件
- 全国規模の大規模コンベンションについて、徳島駅及び徳島阿波おどり空港において歓迎看板を設置するとともに、開催会場において、物産ブースを設置した。（県観光協会）
 - ◆歓迎看板の設置：10件
 - ◆物産ブースの設置：9件
- 魅力あるアフターコンベンション情報を主催者に対して的確に発信し、県内の滞在日数や周遊箇所数の拡大に努めた。開催されたコンベンションでは、主要観光施設の優待券や観光パンフレット等を提供した。（県観光協会）
 - ◆優待券の配布：38件 9,425部
 - ◆各種パンフレットの配布：延べ 35,070部

④ スポーツツーリズムの推進

- スポーツ大会・合宿誘致によりスポーツツーリズムを推進した。
(スポーツ振興課交流拡大室)
 - ◆スポーツ合宿開催支援事業補助金 R6年度実績：41件 (4,213人泊)
 - ◆スポーツ大会開催支援事業補助金 R6年度実績：4件 (344人泊)
- ハイレベル競技団体の合宿誘致及び県内競技団体等との交流事業の実施により、交流人口拡大とともに本県の競技力向上を図った。（スポーツ振興課交流拡大室）
 - ◆R6年度実績：5件
- 東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン相手国であり、本県が友好交流提携を結ぶドイツ・ニーダーザクセン州とのスポーツ交流を実施した。
(スポーツ振興課交流拡大室)
 - ◆柔道交流（受入） R6.10.30～11.5
 - ◆カヌー交流（派遣） R6.8.25～9.1



国際スポーツ交流（柔道）

- ワールドマスターズゲームズ2027関西の開催に向け、本県開催競技のテストイベントや広報活動を実施し、各競技会における運営機能及び競技運営能力、受入体制の向上を図るとともに、本番大会の開催に向け、競技運営ノウハウの蓄積や機運醸成を図った。（スポーツ振興課交流拡大室）

⑤ クルーズ船等の誘致推進

- ポートセールス活動として、国内外の船会社や旅行会社等に対し、徳島小松島港のPRを行うとともに、クルーズ船寄港時の新たな観光ツアー先の提案を行うなど、徳島ならではの魅力を発信した。（港湾政策課）

◆ クルーズ船の寄港実績：19回



クルーズ船寄港

⑥ にし阿波の立地を生かしたプロモーション

- にし阿波地域における旅行閑散期（夏休み終了後9月や冬期の1月・2月）の集客及び観光消費額の増大を図り、にし阿波の観光の魅力をより多くの方に体感いただくため、（一社）そらの郷と連携し、体験料金を通常価格から最大50%（一人当たり上限2千円）割引する、「にし阿波・体験観光割引キャンペーン」を実施した。
また、「ツーリズムEXPO2024」に地域の事業者と共同で出展するとともに、インバウンド向けの活動として、「香港ブックフェア」や「徳島県商談会in香港」等への参加・出展や、イギリスやシンガポール・マレーシアなどへの現地営業や旅行商談会出展、旅行会社訪問など、積極的なプロモーション活動を行った。（西部総合県民局）

◆ にし阿波・体験観光割引キャンペーン実績

第1期実績：販売額4,128,390円、予約件数615件

第2期実績：販売額6,143,726円、予約件数722件



パラグライダーエクスペリエンス

5 県産品の振興による魅力発信

実施状況

①県産品の販路拡大・販売促進・誘客促進

- 全国に向けた、徳島県産品・観光の情報発信や県産品の販路拡大を図るため、大阪・名古屋での物産センターや、東京・福岡・札幌においてコンビニ協働事業を活用したアンテナショップや阿波とくしまアンテナショップ認定店等の運営支援等を行った。
(経済産業政策課商務流通室)

◆東京

- ✓ 徳島・香川マルシェ (R6.12.14~15)
東京交通会館において、県産品の販路開拓を図るマルシェを実施。

◆大阪・名古屋

- ✓ とくしま県の店・名古屋物産センター
県外物産センターにおいて、魅力ある県産品の販路拡大等を支援。

◆福岡

- ✓ 徳島-福岡線就航30周年記念イベント (R6.9.30)
県産品の販路拡大と観光誘客を図るプロモーションを実施。

◆札幌

- ✓ 新聞社訪問 (R6.7.5)
アンテナショップ開設に合わせキラバン隊を組み新聞社3社を訪問
- ✓ アンテナショップ オープニングフェア (R6.7.6)
アンテナショップ開設に合わせて、ローソン2店舗でオープン記念フェアを実施
(徳島銘菓の配布や大抽選会など)
- ✓ アンテナショップ 季節定期便 就航記念フェア (R6.8.1)
ローソン2店舗で「さっぽろしのじ連」による阿波おどりなどのPRを実施
- ✓ アンテナショップ ありがとうフェア (R6.9.28)
アンテナショップ閉鎖に合わせて、ローソン2店舗でありがとうフェアを実施
(お楽しみ袋の販売など)



徳島・香川マルシェ



札幌アンテナショップオープン

- 県産品のブランディングや新たな販路開拓、さらには県内企業の海外進出支援までをワンストップで支援する、官民一体の地域商社
「公益社団法人徳島県産業国際化支援機構」等と連携し、国内外でのプロモーションを実施した。（再掲）（経済産業政策課商務流通室、みどり戦略推進課販売・物流支援室）
 - ◆徳島ビジネスチャレンジメッセ（R6.11.7～9）
 - ✓ 場所：アスティとくしま
 - ✓ 参加者：5社
 - ◆遊山箱料理教室（R6.11.16）
 - 「遊山箱」を活用した徳島の伝統文化と食の一体的なPRを実施
 - ✓ 場所：フランス Espace Japon（日仏文化交流施設）
 - ✓ 参加者：10名
 - ◆HCJ2025（R7.2.4～7）
 - ✓ 場所：東京ビッグサイト（東京）
 - ✓ 参加者：6社
 - ◆首都圏商談会（R7.3.17）
 - ✓ 場所：渋谷エクセルホテル東急（東京）
 - ✓ 参加者：県内企業27社、バイヤー26社



遊山箱料理教室



首都圏商談会

- 徳島ならではの優れた県産品である「とくしま特選ブランド」を、新たに27点認定した。（みどり戦略推進課販売・物流支援室、経済産業政策課商務流通室）



とくしま特選ブランド

- 徳島の食に関する情報をまとめた「阿波ふうどまるごとサイト」に、認定商品をPRするデジタルカタログの掲載や、官民一体の地域商社「公益社団法人徳島県産業国際化支援機構」と連携し、首都圏での百貨店、ホテル、飲食店、メーカー等のバイヤーと認定商品の事業者による商談会を開催するなど、とくしま特選ブランドの県外での認知度向上や販路拡大を図った。（みどり戦略推進課販売・物流支援室）
- 「阿波ふうどスペシャリスト」を育成し発信力を高めるため、産地ツアーやSNS配信を学ぶ交流会を実施し、県産農林水産物のPRや徳島の食の魅力発信の取組を行った。（みどり戦略推進課販売・物流支援室）

6 大阪・関西万博を契機とする誘客促進

実施状況

① 「関西パビリオン」を通じた魅力発信

- 大阪・関西万博における「関西パビリオン」内の本県展示スペース「徳島県ゾーン」について、基本設計に続き、展示・映像コンテンツの詳細設計及び図面作成、構造物や内装の施工、体験コンテンツや映像制作を実施した。
また、本番に向けた運営体制の整備として、人員配置の検討や運営マニュアルの作成、研修を行った。（万博推進課）
- 大阪・関西万博の会場において実施する「自治体催事」や「テーマウィーク」、「関西パビリオン」の多目的エリアで実施する催事の企画準備を行った。（万博推進課）

② 万博開催の機会を捉えた誘客促進

- 「『大阪・関西万博』とくしま拳県一致協議会」を開催し、万博に向けた取組を取りまとめた「徳島県実施計画」を策定するとともに、ポータルサイト等を活用し、県内外に向けて「万博と徳島」を関連づけた情報発信を積極的に行った。
また、関西広域連合の構成府県及び連携団体各県と連携し、取組を進めた。（万博推進課）
- 大阪・関西万博の会場における「徳島県ゾーン」の来場者等及び徳島空港を利用して万博を訪れるインバウンドに対し、関西地域と徳島を結ぶ高速バスとフェリー料金を割引するため、事業の実施準備を行うとともに、当該インセンティブを積極的かつ効果的に周知した。（万博推進課）
- 大阪・関西万博に向け、関西圏における徳島県の認知度を向上させ、誘客を促進するためのプロモーションを実施した。
また、プロモーション結果を分析し、2025年4月から12月までの、関西圏における「精度を上げた」プロモーションの実施計画を作成した。（万博推進課）



徳島県ゾーン（関西パビリオン）



徳島県ワンコインキャンペーン

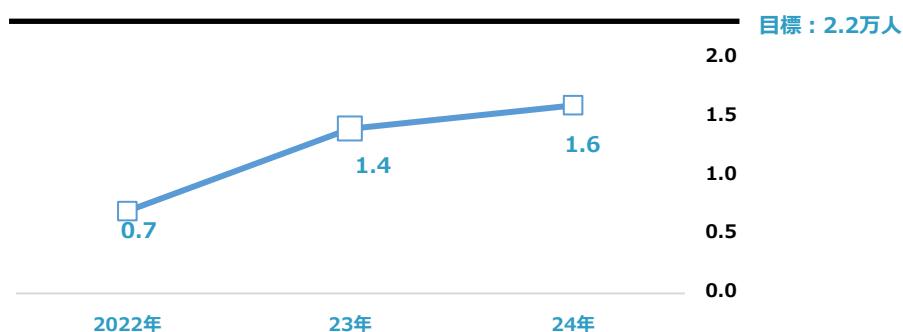
各指標の状況

宿泊者数は過去3番目の数値まで回復、満足度は2年連続で9割越え

①年間観光消費額



②SNSフォロワー数 (阿波ナビ・Instagram)



③年間延べ宿泊者数



④観光満足度

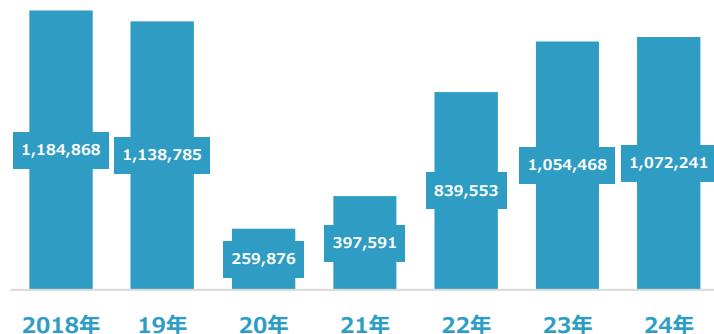


各指標の状況

外国人宿泊者数は大きく増加し過去最高を記録するなど順調に推移

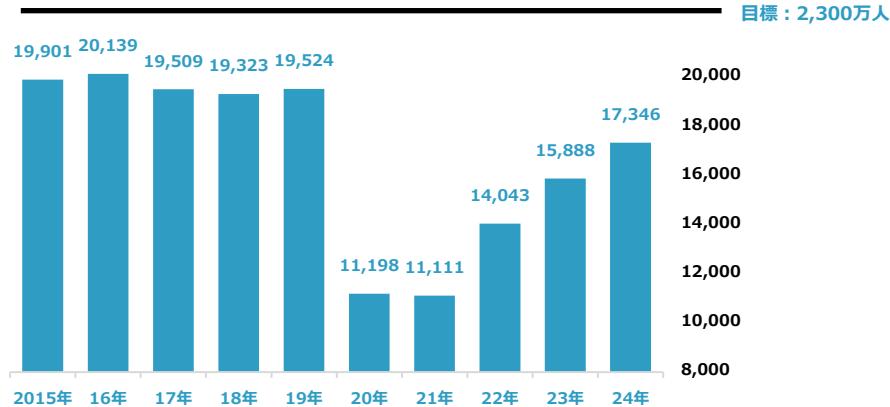
⑤徳島阿波おどり空港の利用者数

目標：120万人



⑥年間観光入込客数

目標：2,300万人



⑦年間延べ外国人宿泊者数

目標：18万人泊

